

ジェットスター寄付プログラム「StarTrees」による森林再生プロジェクト ジェットスター・ジャパン 植樹活動を実施

～北海道雨竜郡幌加内町に「ジェット太の森」誕生～

- ジェットスター旭川就航記念「ジェット太の森」創設イベントを実施
- 北海道大学の雨龍研究林に約200本のエゾアカマツの苗を植樹
- 北海道大学、ジェットスターの社員が「ジェット太の森」づくりに参加
- 今後も持続可能な地域社会の実現に向けて森林再生プロジェクトを継続



ジェットスター・ジャパン株式会社(本社:千葉県成田市、代表取締役社長:片岡優)は、2023年3月より、認定NPO法人環境リレーションズ研究所の森林再生プロジェクト Present Tree に賛同し、同プロジェクトへの寄付プログラム StarTrees を開始しました。このたび、ジェットスターをご利用のお客さまおよび当社社員からの寄付金により、環境リレーションズ研究所および北海道大学が協力して森林再生を行っている北海道雨竜郡幌加内町にて、植樹活動を実施しました。

■北海道雨竜郡幌加内町での森林再生プロジェクト「Present Tree in 北海道」

同町で進められている森林再生プロジェクト「Present Tree in 北海道」は、北海道大学の北方生物圏フィールド科学センターが管理している雨龍研究林内で行われています。同研究林では、ササ地や外来種が植栽された人工林を、元の針広混交林(しんこうこんこうりん)に再生できるよう2006年から植栽活動を行っています。

北海道北部には元々、アカエゾマツやトドマツなどの針葉樹とミズナラやイタヤカエデなどの広葉樹が混ざった針広混交林が拡がり、テシオコザクラやオオバナノエンレイソウなどの草花のほか、エゾヒグマやオジロワシ、イトウなど、今では絶滅が危惧される動植物が多数生息する豊かな生態系がありました。しかしながら、開拓以来の大規模な森林伐採や山火事に加え、台風や大雪などの自然災害が度重なり、その爪痕は林内の至るところにササ地として残されています。厳しい気象条件の中で、ササ地が森に戻り本来の機能を発揮するまでには長い年月が必要です。

認定 NPO 法人環境リレーションズ研究所と北海道大学は、生態系全体の持続可能性を考慮した理想的な森にすべく、元の針広混交林に再生する森づくりに取り組んでいます。

■植樹の様子

植樹にはジェットスター社員 15 名が参加し、北海道大学北方生物圏フィールド科学センター職員の皆さんのガイダンスのもと、アカエゾマツの苗木約 200 本を植えました。アカエゾマツは北海道を代表する木で、北部や東部、大雪山から日高山脈にかけての山岳地に多いのが特徴です。



北海道大学 北方生物圏フィールド科学センター職員のガイダンスのもと 1 本 1 本植林を行う

■「ジェット太の森」誕生

「StarTrees」による初の植樹を記念して植林する森の名前をジェットスターの SNS 上で複数案の中からの投票の結果、「ジェット太の森」に決定しました。「ジェット太」は、ジェットスターのマスコットで、レッサーパンダをモチーフとしています。



上川地域産のトドマツを使用して山田木工場(旭川市)が看板を制作

ジェットスターは、国内外の LCC 路線網を活かして大都市圏と地方間の交流人口を増加することで地域経済の活性化に貢献するとともに、「ジェット太の森」を少しずつ日本各地に広げる活動を通じて、より多くの方に地域の森林環境やその環境保全の重要性における理解を深めるきっかけをつくり、地域一体となった持続可能な社会の実現を目指して今後も取り組んでまいります。

■植樹イベント概要

名称:ジェットスター旭川就航記念「ジェット太の森」創設イベント

実施日:2023年10月10日(火)

実施場所:北海道雨竜郡幌加内町字母子里 北海道大学 北方生物圏フィールド科学センター内

実施者:認定 NPO 法人環境リレーションズ研究所、北海道大学、ジェットスター・ジャパン株式会社

実施内容:

1. 植樹:ジェットスター寄付プログラム「StarTrees」および、ジェットスター・ジャパン社内募金を通じて集まった寄付金により約 200 本のアカエゾマツの苗木を植樹
2. 「ジェット太の森」看板を設置
3. 過去の植栽地および原生林見学:北海道大学 吉田俊也教授による講義

■北海道雨竜郡幌加内町における森林再生プロジェクト「Present Tree in 北海道」概要

目的:生態系全体の持続可能性を考慮した針広混交林の再生

所在地:北海道雨竜郡幌加内町字母子里

管理者:北海道大学 北方生物圏フィールド科学センター

地積:1ha/年ごとに更新

樹種:アカエゾマツ



北海道大学
北方生物圏フィールド科学センター



一面ササに覆われた林内



ササ類を重機で取り除いた(掻き起こし)後
アカエゾマツを中心に植栽



アカエゾマツ

[認定 NPO 法人環境リレーションズ研究所「Present Tree」公式サイトより抜粋](#)

【ジェットスター・ジャパンについて】

「日本の空、世界の空を、もっと身近に。」をビジョンとして掲げ、2012年7月より日本国内線、2015年2月からは国際線の運航を開始しました。現在、国内15都市・海外2都市に就航し、国内線17路線・国際線3路線を運航中。就航から累積4,500万人以上のお客さまにご利用いただいています。ジェットスター・ジャパンには豪カンタスグループ、日本航空株式会社、東京センチュリー株式会社が出資しています。<https://www.jetstar.com/jp/ja/home>

【Present Tree について】

認定 NPO 法人 環境リレーションズ研究所が2005年1月にスタートさせた森林再生と地域振興をつなげるためのプロジェクトです。自然災害で森林が消滅したところ、里山として保全していくべきところなど、さまざまな理由で森づくりが必要とされている場所に樹を植えて地元の人たちと交流しながらともに育てていくことで、森だけではなく地域も元気にしていきます。

<https://presenttree.jp/>